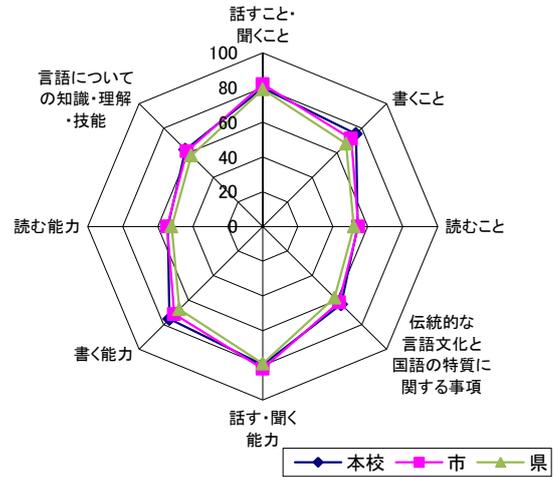


宇都宮市立清原東小学校第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	79.7	82.0	78.9
	書くこと	75.4	71.5	67.4
	読むこと	54.3	54.6	52.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	63.4	61.7	58.1
観点	話す・聞く能力	79.7	82.0	78.9
	書く能力	75.4	71.5	67.4
	読む能力	54.3	54.6	52.1
	言語についての知識・理解・技能	62.5	61.3	57.7



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○話し合いの進め方の工夫について解答する問題は理解している。</p> <p>●平均正答率は県平均を上回るものの、市平均には届いていない。</p> <p>●話の中心に気をつけて聞くことができていない。</p>	<p>・話の聞き方や聞くとときの姿勢と態度について指導をする。</p>
書くこと	<p>○平均正答率は県、市平均ともに上回っている。</p> <p>○80%超の児童が指定された長さで文章を書くことができています。</p> <p>○自分の意見を明確に文章に表わせる児童が92%を超えている。</p> <p>●段落に分けて書いたり、自分の意見を支える理由を明書き表したりすることは市平均を下回っている。</p>	<p>・理由を明確にした文章の書き方を理解させて、書き方の習熟を図る。</p> <p>・段落に分けて作文を書く機会を多く設けて、書く力を高めさせる。</p>
読むこと	<p>●平均正答率は、県平均を上回るものの市平均にわずかに下回っている。</p> <p>○場面の様子を叙述を基にして読み登場人物の気持ちを目的や必要に応じて中心主題をとらえることは得意である。</p> <p>●目的や必要に応じて文章の内容を読むこと、段落相互の関係に注意して文章を読むことの平均正答率は県、市平均よりも低い。</p>	<p>・朝の読書、家庭での読書を推進し、文章に親しむようにさせる。</p> <p>・段落ごとに要点をまとめ内容を理解するとともに、段落と段落の関係をとらえさせて、文章全体の構成を考えさせるような学習活動を増やしていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○前学年の漢字の読み(印象、努める)は平均正答率が90%を超えている。</p> <p>○3、4年生の漢字の書き(整列、養う)の平均正答率は県、市平均を上回る。</p> <p>●修飾語、慣用句の使い方については県、市平均を下回る。</p>	<p>・朝の学習や家庭学習で今まで習ってきた漢字も含めて練習を継続して行い、定着を図る。</p> <p>・文章を書くときに、習った漢字をできるだけ使い、修飾語も工夫して詳しく表現できるよう指導していく。</p> <p>・国語辞典、漢字辞典の使い方を活用する機会を増やして、辞書の使い方の習熟を図る。</p>